

商品名 アドリアシン注用10 医薬品基本情報

薬効	4235 アントラサイクリン系抗生物質製剤	一般名	ドキソルビシン塩酸塩注射用
英名	Adriacin	剤型	注射用
薬価	1939.00	規格	10mg 1瓶
メーカー	サンドファーマ	毒劇区分	(劇)

アドリアシン注用10の効能・効果

(悪性リンパ腫、胃癌、肝癌、結腸癌、骨肉腫、膵臓癌、直腸癌、乳癌、肺癌、膀胱腫瘍、胆管癌、胆のう癌、消化器癌)の自覚的及び他覚的症状の緩解、多発性骨髄腫、小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、小児肝芽腫、小児腎芽腫、小児網膜芽腫、悪性骨・軟部腫瘍、悪性骨腫瘍、乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、小児悪性固形腫瘍、尿路上皮癌

アドリアシン注用10の使用制限等

1. 心機能異常又はその既往、本剤成分又は含有成分で重篤な過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 骨髄機能抑制、感染症、水痘、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アドリアシン注用10の副作用等

1. 咳嗽、呼吸困難、発熱、間質性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 心筋障害、心不全、汎血球減少、貧血、白血球減少、好中球減少、血小板減少、骨髄機能抑制、出血、ショック、萎縮膀胱	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 心電図異常、食欲不振、悪心、嘔吐、口内炎、脱毛、頻尿、排尿痛、膀胱炎	記載場所	その他の副作用
4. 蛋白尿、残尿感、気胸、血胸、鼻出血	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

5. 頻脈、不整脈、胸痛、肝障害、下痢、皮膚色素沈着、倦怠感、頭痛、血尿、過敏症、発疹、発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 骨髄機能抑制、心筋障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 遅発性心毒性	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 心筋障害、重篤な心筋障害、二次性白血病、骨髄異形成症候群、MDS、感染症、感染症悪化、出血傾向、出血傾向悪化、局所組織障害、致命的全身障害、催奇形作用、心毒性、骨髄機能抑制、腸管の癒着、血管痛、静脈炎、血栓、硬結、壊死、乳腺腫瘍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アドリアシン注用10の相互作用

- 薬剤名等：投与前の心臓部あるいは縦隔への放射線照射

発現事象	心筋障害が増強	投与条件	-
理由・原因	心筋に対する蓄積毒性が増強	指示	注意

- 薬剤名等：潜在的に心毒性を有する抗悪性腫瘍剤

発現事象	心筋障害が増強	投与条件	-
理由・原因	心筋に対する蓄積毒性が増強	指示	注意

- 薬剤名等：抗悪性腫瘍剤

発現事象	骨髄機能抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	副作用が相互に増強	指示	注意

- 薬剤名等：放射線照射

発現事象	骨髄機能抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	副作用が相互に増強	指示	注意

- 薬剤名等：パクリタキセル

発現事象	骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	本剤投与前にパクリタキセルを投与
理由・原因	本剤投与前にパクリタキセルを投与すると、本剤の未変化体の血漿中濃度が上昇	指示	注意

アドリアシン注用10の配合変化

1. 薬剤名等：他の薬剤

発現事象	安定性が低下	投与条件	-
理由・原因	溶解時のpH	指示	禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版『DIR』